

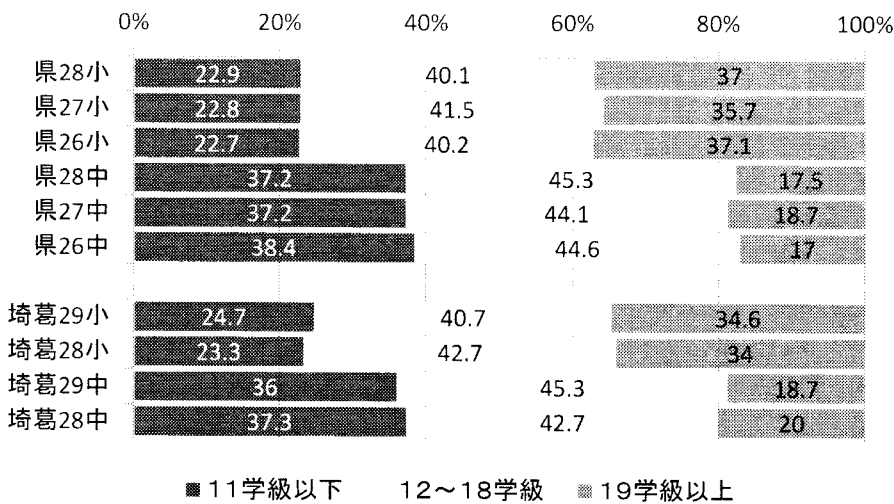
埼玉葛ニューズレター

『埼玉葛ニューズレター』第8号 発行に寄せて 埼玉葛退職校長会長 山根和夫

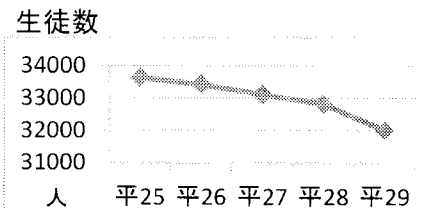
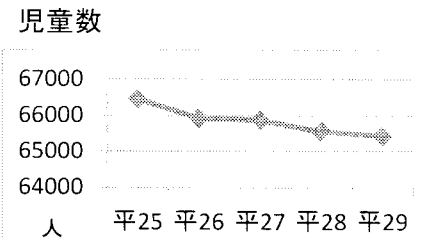
本年度は、埼玉葛退職校長会結成50周年記念の冠をつけて行いました全ての行事が素晴らしい成果を収め、年度末を迎えます。会員皆様のご協力に心から感謝申し上げます。
また、「主体的・対話的で深い学び」を目指す新学習指導要領の実施も目の前に控えております。この教育を実現する学校の児童・生徒数や学級数の状況を調査致しました。ご活用いただければ幸いです。

一 公立学校の学級数別構成比と埼玉葛市町児童・生徒数の推移

＜公立学校の学級数別構成比＞



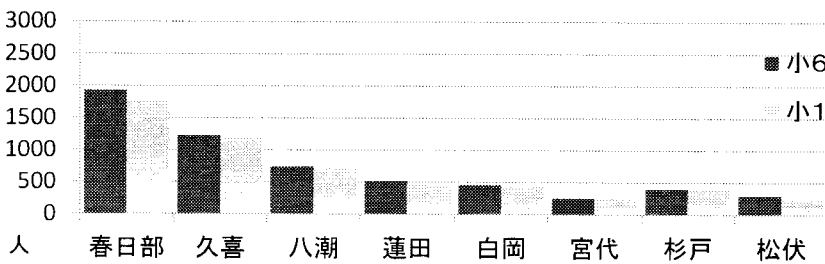
＜埼玉葛児童生徒数の推移＞



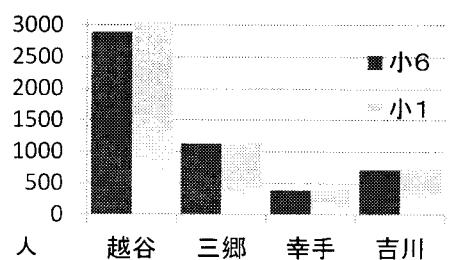
(埼玉県学校基本調査より作成)

＜埼玉葛小学校市町別6年・1年の児童数＞

＜減少している市町＞



＜増加している市町＞



(埼玉県学校基本調査より作成)

平成26年度より3年間の埼玉県の、＜公立学校の学級数別構成比＞をみると、小中学校とも大きな変化はなく推移しています。埼玉葛における構成比も大体似ていると言えます。

一方、＜埼玉葛児童生徒数の推移＞をみると、小中学校とも減少傾向にあります。特に、平成28年～29年にかけては、小学校で117人、中学校で812人の減少です。これは、埼玉葛の教育にとって、大変大きな課題です。

また、＜埼玉葛小学校市町別6年・1年の児童数＞の状況を、全体的に減少傾向のある市町と増加傾向のある市町に分けてグラフ化すると上記のようになりました。

各市町、各学校においては、学校の統廃合を含め、様々な課題への対応が進行しているのではないのでしょうか。